

# バンザイ鉄塔ペーパークラフトをつくってみよう

対象：中学生以上 作成時間の目安：2時間半

## 用意するもの ✂️ 📏


はさみ・カッター（よく切れるものをお勧めします）・カッターマット・定規・のり（水のはり）・のりを出しておく皿（紙でも可）・爪楊枝・ピンセットなど

## 作成時の注意！

※ はさみやカッター等の刃物使用の際には、怪我に十分注意してください

※ ノリや接着剤は使用方法の注意をよく読んでお使いください。特に強力な接着剤を使う場合は、誤って体や衣服等につけない様ご注意ください。

① 図の外枠に沿って、各部品を切り離して下さい。⇒ 図1～5参照

- 実線 ————— ⇒ 切りとり線      点線 ..... ⇒ 折り線 です。
-  の部分はのりしろです。
- 部品A（図1参照）には、中をくりぬくように切るところがあるので（※の部分）、その部分はカッターで切して下さい。
- 部品D（図4参照）には、切りとり線（実線 —————）と折り線（点線 .....）が入り組んでいるので、間違えないように注意して切り取って下さい。

② 折り線（点線 .....）に沿って、折り目をつけて下さい。

- 折り目は、線に沿って定規をあてて、カッターで切り離さないように軽く切る（紙の厚さの半分くらいまで）か、芯のでていないシャープペンの先などで、線を引くようにつけて下さい。

図1

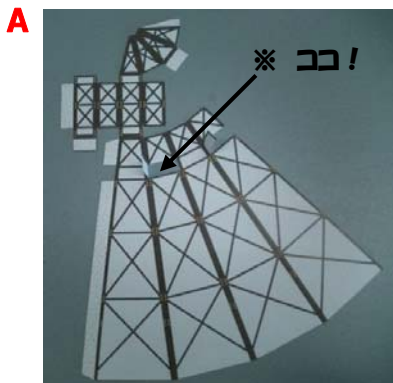


図2



図3



図4

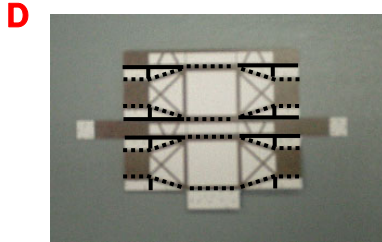


図5



③ 各部品A～Eを組立てます。⇒ 図6～10\_2のりで貼り合せるときは、ピンセットなどで接着部をしばらく挟み、固定します

図6



図7\_1



図7\_2



図8



図10\_1



図9\_1

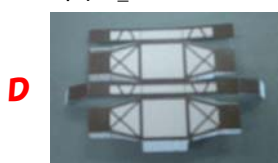
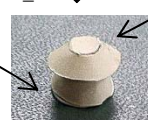


図9\_2

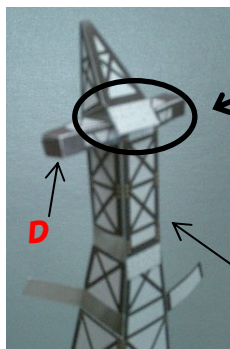


図10\_2



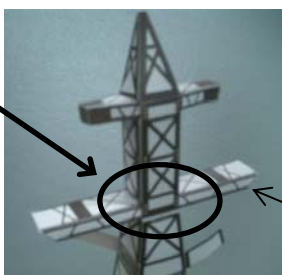
④ ③で組み立てた各部品を組み合わせていきます。⇒ 図11～17

図11



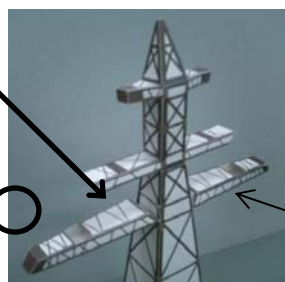
1. AとDを組み合わせる。  
Dは○がある方が上です。

図12



2. AにCを組み合わせる。

図13

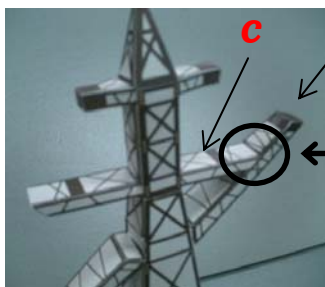


3. AにBを組み合わせる。

のりをつけて、  
のりしろをはさ  
みこむ

Bを差し込み、  
ふたをしめる

図14



4.1. BにCを差し込む。

図15



4.2. 反対側も同様に。

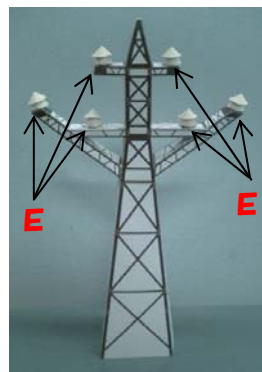
BとCの差し込み口は、少しきつめに作ってあるので、少々強引に差し込みます。

図16



5. A～Dを全て  
組合せた状態。

図17



6. Eを図の○の位置  
に貼り付ける。

本ペーパークラフトは、製作の都合上、縮尺や、部材の表現が実物と異なる部分がありますので、ご了承ください。

バンザイ鉄塔が利用された鬼怒川線は、鬼怒川水力電気（株）により大正元年に一部竣工、同3年に全設備が完成した下滝発電所（現在の栃木県、鬼怒川温泉）と東京変電所（現在の東京、尾久）間125kmとを結ぶ6万6千ボルトの送電線として完成し、当時としては最高電圧、最長距離を誇りました。独特のバンザイ型は、送電線の配置が正三角形になることや、鉄塔の幅を狭くして用地補償を減らすことを考えたもので、石川島造船所により製作されました。

